

DESIGN-2020

Depth 深さ 創内の一番深い部分で評価し、改善に伴い創底が浅くなった場合、これと相応の深さとして評価する 深さの点数は合計に加えない ¹⁾		
d	0	皮膚損傷・発赤なし
	1	持続する発赤 ²⁾
	2	真皮までの損傷
D	3	皮下組織までの損傷
	4	皮下組織を超える損傷
	5	関節腔、体腔に至る損傷
	DTI	深部損傷褥瘡 (DTI) 疑い ³⁾
U	壊死組織で覆われ深さの判定が不能	
Exudate 滲出液		
e	0	なし
E	1	少量：毎日のドレッシング交換を要しない
	2	中等量：1日一回のドレッシング交換を要する
	6	多量：1日二回以上のドレッシング交換を要する
Size 大きさ 皮膚損傷範囲を測定：「長径 (c m) ×短径 ⁴⁾ (c m)」		
s	0	皮膚損傷なし
	3	4未満
	6	4以上16未満
	8	16以上36未満
	9	36以上64未満
	12	64以上100未満
S	15	100以上
inflammation/infection 炎症／感染		
i	0	局所の炎症徴候なし
	1	局所の炎症徴候あり (創周囲の発赤・腫脹・熱感・疼痛)
I	3C ⁵⁾	臨界的定着疑い (創面にぬめりがあり、浸出液が多い。肉芽があれば、浮腫性で脆弱など)
	3	局所の明らかな感染徴候あり (炎症徴候、膿、悪臭など)
	9	全身的影響あり (発熱など)
Granulation 肉芽組織		
g	0	創が治癒した場合、層の浅い場合、深部損傷褥瘡 (DTI) 疑いの場合
	1	良性肉芽が創面の90%以上を占める
	3	良性肉芽が創面の50%以上90%未満を占める
G	4	良性肉芽が創面の10%以上50%未満を占める
	5	良性肉芽が創面の10%未満を占める

	6	良性肉芽が全く形成されていない
Necrotic tissue 壊死組織		
n	0	壊死組織なし
N	3	柔らかい壊死組織あり
	6	固く厚い密着した壊死組織あり
Pocket ポケット 毎回同じ体位で、ポケット全周(潰瘍含め)「長径 (cm) × 短径 ⁶⁾ (cm)」から潰瘍の大きさを差し引いたもの		
p	0	ポケットなし
P	6	4未満
	9	4以上16未満
	12	16以上36未満
	24	36以上

部位 仙骨部 坐骨部 大転子部 踵部 その他 ()

- 1) 深さの点数は合計に加えない
- 2) 持続する発赤の場合も皮膚損傷に準じて評価する
- 3) 深部損傷褥創 (DTI)疑いは、視診・触診、補助データ (発生経緯、血液検査、画像診断) から判断する
- 4) 短径とは長径と直行する最大径である
- 5) 3cあるいは3のいずれかを記載する。いずれの場合も点数は3点とする
- 6) 短径とは直径と直行する最大径である